

を楽しみにしていた。  
「と語り、点鐘し  
(鈴木良征)

### 自然との共存考える

28日に琵琶湖博物館視察会

河など  
三話  
東懇

東三河懇話会、東三河地域研究センターは28日、バスによる滋賀県立琵琶湖博物館視察会を開く。琵琶湖は世界でも有数の古い湖の1つで多様な生物が生息しており、視察会は環

境、自然と人間の新しい共存を考える機会になるものとみられる。同博物館は日本の淡水生物を扱った最初の水族館で、なかでも琵琶湖の水中を表した水中トンネルは琵琶湖の大きさが実感できる。このほか、琵琶湖の生い立ちや歴史、古代の人々の暮らしや生活などの展示もある。

今回のフォトコンテストは、豊橋、豊川、新城、蒲郡市在住の3歳から15歳の子供がいる家族。テーマは「家族の夏の思い出写真」。

## 家族のきずな再認識

### TERAKOYAがフォトコン

個人別ドリル学習塾TERAKOYA(豊川市末広通2丁目)は、東三河在住の子供がいる家族を対象に「2010年夏の家族フォトコンテスト」を実施す

る。家族のきずなを地域の人たちに再認識してもらうためのイベントで、夏の思い出写真を広く募集する。TERAKOYAは、ドリル教材と取り組むことで、小学生に確かな基礎力を定着させるとともに、彼らの自主性、集中力、自信を育(はぐ)むことができ、豊川で教室を開いている。

応募は現像した四つ切りサイズの写真(モノクロ、カラー可)。1人何点でも応募できる。住所、氏名、学年、電話番号、作品の説明を記入し、〒442-1000 豊川市末広通2ノ61、個人別ドリル学習のTERAKOYAへ。電話0533(84)6336。(鈴木良征)

## の向上

「謝罪をすること」は英国(80%)に次いで、オーストラリア(79%)と並んで高い割合になっており、日本では物よりも気持ちで謝意を表してほしい、と考える傾向にある。

メディアの報道への信頼度が高く、消費行動に大きく影響を与えている。『購入を決定する要素』では「価格に対する価値」(91%)が1位で、2位は「購入品のメリット」(90%)、3位「購入品の印象、イメージ」(83%)となっている。

青木幸弘学習院大学教授は「日本ではサービスについて2つの側面をとりあえている。1つは本当の意味での付加価値を生み出すサービス。もう1つは、あって当たり前前のサービス。消費者の意識をよく理解し、商品やサービスを提供していくことが今後さらに企業に求められていく。